

事務事業評価資料

施策名	電力不足に対応した節電対策		所管部局課名	農政環境部環境創造局環境政策課					
事業名	卓上型LED照明導入事業		担当者電話番号	エコライフ係 2793					
事業目的	ひっ迫する電力事情に対応するため、電力需要ピーク時の節電に貢献								
事業内容	消費電力が少ない卓上型LED照明を本庁舎等に導入し、電力需要ピーク時に執務室の蛍光灯照明を可能な限り消灯し卓上型LED照明に切り替えることで、電力使用を抑制			事業開始年度	平成24年度				
事業に要するコスト	区分	平成24年度決算額		平成25年度当初予算額		平成26年度当初予算額			
	事業費	(13,494 千円) 13,494 千円		(11,985 千円) 11,985 千円		(11,985 千円) 11,985 千円			
	人件費	801 千円	従事人員 0.1人	790 千円	従事人員 0.1人	791 千円 0.1人			
	総コスト (+)	14,295 千円	従事人員 0.1人	12,775 千円	従事人員 0.1人	12,776 千円 0.1人			
事業の目標	夏・冬の電力需要ピーク時における本庁舎等の電力使用量削減（リース契約後は、関西地域の電力事情の動向を踏まえ別途検討）			【目標設定理由】 天井照明を可能な限り消灯し、卓上型LED照明を使用した場合に削減できる1時間あたりの電力使用量を目標値に設定。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		24年度実績	25年度見込み	26年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H24	H25	H26 (目標)
	本庁舎の使用電力削減量	夏冬ピーク時 193kWh	H26	夏冬ピーク時 193kWh (74 千円)	夏冬ピーク時 193kWh (66 千円)	夏冬ピーク時 193kWh (66 千円)	100%	100%	-
評価結果	必要性	・平成26年度以降も関西地域の電力不足が懸念される中、大規模な事業者である県として、率先した節電取組の実施が必要である。							
	有効性	・特に節電が求められる夏・冬の電力需要ピーク時に、執務室の蛍光灯照明を消灯し、より使用電力の少ない卓上型LED照明に切り替えることにより、確実に本庁舎等の電力使用を抑制できる。							
	効率性	・改修によらず節電を実行できることから、費用・時間とも効率的に電力使用量を削減できる。							
	民間・市町との役割分担	・県が大規模な一事業者として率先した節電取組を実施することにより、市町・民間・家庭の取組を促進する。							
	受益と負担の適正化								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	・電力不足が懸念される期間の一時的な対応であることから、一定期間のリース契約で実施 ・リース契約後は、関西地域の電力事情の動向を踏まえ別途検討								